



令和6年度 苫小牧市立拓進小学校グランドデザイン

拓進小の教育の構想

教育目標

希望の道をたくましく進む子の育成

つよい子
たくましく
健康な心身をもつ子

まなぶ子
正しさを求め、
進んでまなぶ子

やさしい子
思いやりの心もち、
助け合う子

社会・教育界の動向

- ・少子高齢化、グローバル化、情報化などによる急激な社会の変化
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・個別最適な学びと協働的な学び
- ・GIGAスクール構想、教育DX
- ・誰一人取り残さない教育の推進
- ・働き方改革の推進
- ・学校組織力の強化

苫小牧市教育大綱
(2023～2027年度)

【基本理念】

○未来の社会をつくる人づくり

「教育の目的はひとつであり、今日の教育が子どもたちの未来をつくり、未来の社会をつくる」という教育の重大な使命を自覚し、教育の振興と発展に向けて取り組む。

【教育推進の指標】

○未知なるものに果敢に挑戦する自立の精神あふれ、連帯と共生の豊かな心と活力にあふれる人を育てる(自立・連帯・共生)

【基本施策】

- 1 確かな学力の育成
- 2 これからの時代に求められる資質・能力の育成
- 3 多様な価値を尊重する豊かな心の育成
- 4 体力向上・健康教育の充実
- 5 特別支援教育の充実
- 6 学校段階間の連携・接続の推進
- 7 不登校児童への支援の取組の充実
- 8 学校と地域の連携・協働の推進
- 9 学びのセーフティネットの構築
- 10 教育環境・学校施設・設備の充実

保護者の願い

- 各教科における学力の定着を図ってほしい。
- 思いやりのある豊かな人間性を育ててほしい。
- 主体的に他者と関わり合えるコミュニケーション能力を身に付けてほしい。
- 「知」「徳」「体」をバランス良く育ててほしい。
- 安全で安心できる学校であってほしい。

法体系が示す理念的人間

- ・人格形成
- ・学習指導要領改訂の趣旨(豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成、基礎基本の確実な定着)

北海道教育の目指す姿
【基本理念】

自立

○自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育て

共生

○ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育て

胆振管内教育推進の重点

一人一人の子どもを主眼とする学校づくり

～学校内外の協働の深化を図る学校経営～

- 1 資質・能力の向上
- 2 特別支援教育の充実
- 3 生活・学習習慣の確立
- 4 地域との連携・協働
- 5 教員の人材育成
- 6 働き方改革の推進

学校における重点達成の鍵

【組織的な取組による検証改善サイクルの確立】

【精選・徹底・継続】

子どもの実態

- 進んで挨拶をし、きまりを守って生活している。
- 友達に優しく接する児童が多い
- 朝学習や国語の学習を通して、意欲的に読書活動に取り組んでいる。
- 「学年×10分+10分」の家庭学習習慣の定着に課題がある。
- 主体的に学び、思考・判断したことを場に応じて表現する力など、学力向上を一層図ることが求められる。

学校経営方針

『児童の居場所となる学級・学校の創造』
～主体的・協働的・自律的な児童の育成～

学校経営の重点

たくましく生きるための健康な体づくりを進める学校(つよい子)

基本的な生活習慣の定着・運動の日常化

基本的生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組の推進

「情報端末機器の約束」の指導と啓発

感染症対策の継続

運動環境の整備、体力づくりや体育授業の改善・充実

一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる学校(まなぶ子)

授業改善の徹底

主体的に学び、子どもが「できた」「分かった」を実感できる授業

共通取組事項・場面の推進、専科の指導による理科授業の質の向上

ICTやタブレットの積極的な活用による個別最適な学びと協働的な学びの推進

特別支援学級の考え方を活かした学級経営・学習指導

家庭学習の指導

主体的な学習習慣の確立、家庭学習の質の向上に向けた指導と連携

豊かな人間性を育て、他者を思いやる人を育てる学校(やさしい子)

不登校、いじめ問題への対応

自己肯定感や自己有用感を育む居場所づくり～仲のよい学級・学校づくり

「生徒指導提要」やガイドブック・支援ツールを踏まえた取組の推進

未然防止・早期発見及び事案対処、長期化・固定化の防止、自立支援児童会主体のいじめをなくそう集会、いじめを許さないルール作り

道徳教育の充実(授業改善・授業公開、「道徳の日」の設定)

今年度の重点

「仲のよい学級づくり」「分かる・できる授業づくり」

合言葉～みんなでみんなを！～

今年度の重点取組事項

一人一人に主体的に学ぶ力と確かな学力を育てる取組

授業改善の徹底(分かる・できる授業づくり)

- ・一体感ある指導の推進(単元・板書・ノート計画(国語・算数)の精査と改善、学習規律の徹底)
- ・「主体的・対話的で深い学び」(共通取組事項、共通取組場面を踏まえた授業実践と評価・改善/校内研修の充実)
- ・ICTやタブレットの活用による個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ・基礎学力の定着に向けた取組(補充学習、学力テスト等)
- ・授業における学校図書館活用の充実
- ・通常学級における支援や配慮を要する児童への手立ての確立(ユニバーサルデザイン化)、組織的な対応の推進
- ・個別的教育支援計画の活用による個に応じた支援や手立ての充実
- ・インクルーシブ教育(交流及び共同学習、特別活動)の充実に向けた連携・協働の充実
- ・啓発学習等の積極的な公開

家庭学習の指導の継続

- ・自主学習を中心とした毎日の学習習慣の確立
- ・家庭学習の手引きの活用、調査による実態把握と改善指導、主体的な取組を促す家庭学習カードの活用及び保護者への啓発、授業と連動させた学習内容の指導、学習プリント等の常備
- ・家庭学習の質の向上(活用力を身に付ける)

◇学習に関する児童アンケート「授業がわかる」国語・算数 90%以上

◇「学年×10分+10分」の家庭学習ができる児童低学年90%、中高学年85%以上

総合的な学校力を向上させ、保護者・地域に信頼される学校

学校力の向上

- ・人材育成(ミドルリーダー・若手教員)
- ・教師力(資質・能力)、組織力の向上
- ・教育の質の向上を図る働き方改革の推進(業務内容の精選・重点化、定時退勤の推進等)
- ・危機管理への意識向上と体制確立

家庭地域との連携

- ・ホームページ・さくら連絡網による学校の取組の発信、危機管理マニュアルの周知
- ・オープンスクールの実施
- ・「情報機器利用の約束」の活用及びゲーム・スマホ安全教室の開催等による基本的生活習慣の確立

エリア3校での連携

- ・学校教育力向上エリア会議
- ・コミュニティスクールによる地域連携、人材活用
- ・国語、算数、外国語、道徳における実践交流
- ・特別支援教育における支援体制の充実
- ・生徒指導などの情報共有
- ・系統性、統一性のある取組(教育課程の改善)

豊かな人間性を育て、他者を思いやる人を育てる取組

不登校、いじめ問題への対応(仲のよい学級・学校づくり)

- ・主体性や自己有用感を高め互いを認め合う学級経営(学級活動、学校行事、全校合唱、異学年交流等)
- ・児童理解による信頼関係の構築(実態把握と情報共有)
- ・いじめや不登校への組織的な対応と関係機関等との連携
- ・学習・生活規律の徹底(全職員による一体的・重点的な指導、納得感を高める指導)
- ・アンケート及び教育相談の充実
- ・児童会が主体となった「いじめをなくそう集会」等の取組
- ・道徳教育の充実(年3回の「道徳の日」の設定、道徳の授業改善、保護者地域への授業公開)
- ・挨拶運動の推進と相手や場に応じた言葉遣いの指導

◇児童アンケート「学校は楽しい」95%以上

たくましく生きるための健康な体づくりを進める取組

基本的生活習慣の確立・運動の日常化

- ・基本的生活習慣の定着に向けた家庭と連携した取組
- ・「情報端末使用時の約束」の指導と啓発(ゲーム・スマホ安全教室の実施)
- ・感染症対策の継続
- ・危険回避能力を高める取組
- ・体力づくり、体育の授業の充実「課題」「まどめとふり返り」
- ・体力づくりカード・コーナーの充実
- ・新体力テストの分析と目標達成外種目の強化

◇児童アンケート「体育の授業でたくさん運動している」95%以上